

外国語

1 学年：週 1 時間 2 学年：週 1 時間 3 学年：週 1 時間

■目標

- 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- ・外国語の音声や文字、語彙、表現、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。（知識及び技能）
 - ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えた気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。（思考力、判断力、表現力等）
 - ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

■学習内容

＜知識及び技能＞	・実際に英語を用いた場面や状況等における言語活動
	【具体的内容】 ・英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現など、日本語との違い
＜思考力、判断力、表現力等＞	①情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりする活動 ②言語活動（聞くこと） ③言語活動（話すこと） ④言語活動（書くこと） ⑤言語活動（読むこと）
	【具体的内容】 ①伝えようとする内容の整理、簡単なやり取り、語彙が表す内容を想像しての読み書き ②簡単な語句や基本的な表現をイラストや写真と結び付ける、日付や時刻、値段など具体的な情報を聞き取る ③自己紹介、挨拶、指示や依頼、承諾や拒否、自分の考えや気持ちを話す、質問と応答 ④活字体の大文字、小文字、簡単な語彙を書き写す活動 ⑤活字体の大文字、小文字の識別、発音、掲示やパンフレットなどから情報を得る活動、簡単な語彙などを本などから識別する活
＜言語の使用場面の例＞	①特有の表現がよく使われる場面 ②生徒の身近な暮らしに関わる場面
	【具体的内容】 ①挨拶、自己紹介、買物、食事、道案内、旅行など ②学校での学習や活動、家庭での生活、地域での生活など
＜言語の働きの例＞	①コミュニケーションを円滑にする ②気持ちを伝える ③事実・情報を伝える ④考えや意図を伝える ⑤相手の行動を促す
	【具体的内容】 ①挨拶をする、呼び掛ける、相づちを打つ、聞き直すなど ②礼を言う、褒める、謝るなど ③説明する、報告する、発表するなど ④意見を言う、賛成する、承諾する、断るなど ⑤質問する、依頼する、命令するなど

■評価の方法

＜知識及び技能＞

- ・授業中の発言、様子
- ・ワークシートの記述、回答

＜思考力、判断力、表現力＞

- ・授業中の発言、様子
- ・ワークシートの記述、回答

＜学びに向かう力、人間性＞

- ・授業中の発言、様子
- ・自らの生活に生かそうとする態度

■生徒へのメッセージ

生活の中にあふれている外国語、皆さんはどれくらい理解して使っていますか。
アルファベットやヘボン式ローマ字、英単語、簡単な場面対話などを通して、外国語について理解を深めましょう。
失敗を恐れず、積極的にコミュニケーションを取れるように楽しんで勉強していきましょう。